

遠視性不同視弱視の屈折変化に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年2月5日～2030年3月31日

〔研究課題〕 遠視性不同視弱視における経時的屈折変化の後ろ向き研究

〔研究目的〕

遠視性不同視弱視の屈折変化、中心窩網膜厚との関連について検討します。

〔研究意義〕

遠視性不同視弱視は、弱視の中でも予後の良い弱視ですが、なかには良好な視力の得られない症例もあります。本研究において、屈折度の変化が弱視治療の予後に影響を与えるかを検討することで、小児の弱視治療の予後予測の指標を構築することができます。

〔対象・研究方法〕

眼科的疾患のない帝京大学医学部附属病院を1999年1月1日から2023年3月31日までに受診した遠視性不同視弱視の患者200名を本研究の対象とします。通常の診療内で得られた視力、屈折度、眼球の大きさ、中心窩網膜厚のデータ200名について遠視性不同視弱視の屈折度数の経年変化を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

〔個人情報の取り扱い〕

得られた情報は個人が特定されないよう加工します。国内専門学会で発表予定です。

発表時にはデータを全て個人情報が分からないよう加工され、個人情報は秘匿されるよう配慮します。研究データは研究終了から10年間、帝京大学臨床研究センターに保管された後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 渡部 維（准教授）

所属：帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1328